

農の力を未来へつなぐ

NOSAI

平成29年 春
第12号

 **NOSAI**
山口県農業共済組合

P03-04

みんなスマイル!

家族応援団

P09-10

収入保険制度

P11

任期満了に伴う
改選のお知らせ



平成28年産【水稲】

共済金 61,993,896円

平成28年産 水稲							
	加入状況			損害評価高			
	戸数(戸)	面積(a)	共済金額(円)	戸数(戸)	面積(a)	支払共済金(円)	金額被害率(%)
組合 計	23,581	2,129,238.5	12,477,025,381	869	27,869.9	61,993,896	0.5

平成28年産【なし】

共済金 386,345円

平成28年産なしは4月中旬及び5月上旬の強風により、果実に損傷を受ける被害が発生しました。

また、梅雨明け以降夏場の降水量が極めて少なく、猛暑が続いたため日焼け果、小玉果及び過熟果等の被害が発生し減収したことにより、支払共済金は386,345円となりました。



猛暑により袋掛けをしている状態で日焼けした果実



強風により損傷した果実

平成28年産 なし 災害収入共済方式							
支 所	加入状況			損害評価高			
	戸数(戸)	面積(a)	共済金額(円)	戸数(戸)	面積(a)	支払共済金(円)	金額被害率(%)
西部管内 美祿支所	24	1,662.0	108,975,000	4	226.0	386,345	0.4
組合 計	24	1,662.0	108,975,000	4	226.0	386,345	0.4

平成28年産【うんしゅうみかん】

共済金 322,470円

平成28年産うんしゅうみかんは裏年にあたりますが、着花状況にばらつきが感じられたものの、比較的着花量が確保され、発芽、開花ともに早い樹が多い状況でした。これは、昨冬は暖冬で一定量の降雨があったことに加え、昨年産の成熟が早かったことも影響したと思われます。

しかしながら梅雨明け以降9月上旬まではまとまった降雨がなく、猛暑が続いたため干害となり、日焼け果、小玉果等が発生した園地もありました。また、猪による食害や樹木の損傷が、昨年まで無被害地域において発生したことにより、支払共済金は322,470円となりました。



イノシシによる食害



イノシシによる枝折りの被害

平成28年産 うんしゅうみかん 半相殺減収総合一般方式								
支 所		加入状況			損害評価高			
		戸数(戸)	面積(a)	共済金額(円)	戸数(戸)	面積(a)	支払共済金(円)	金額被害率(%)
本所管内	本所	7	121.0	562,000	0	0.0	0	0.0
	佐波支所	8	177.0	700,000	0	0.0	0	0.0
	厚狭地区支所	8	157.0	224,000	0	0.0	0	0.0
東部管内	東部総合支所	1	10.0	88,000	0	0.0	0	0.0
	田布施支所	72	1,264.0	8,971,000	7	137.0	322,470	3.6
西部管内	西部総合支所	12	340.0	1,315,000	0	0.0	0	0.0
組 合 計		108	2,069.0	11,860,000	7	137.0	322,470	2.7
平成28年産 うんしゅうみかん 半相殺特定危険減収暴風雨方式								
支 所		加入状況			損害評価高			
		戸数(戸)	面積(a)	共済金額(円)	戸数(戸)	面積(a)	支払共済金(円)	金額被害率(%)
東部管内	田布施支所	41	1,360.0	11,330,000	0	0.0	0	0.0
組 合 計		41	1,360.0	11,330,000	0	0.0	0	0.0

播種作業は、11月中旬から12月下旬にかけての断続的な降雨や大豆の収穫遅れの影響で全般的に遅れた地域もありましたが、概ね12月末までに終了しました。

11月中旬までに播種された圃場では、概ね良好な出芽となりましたが、12月播種の圃場では降雨の影響により出芽に時間を要するなど、生育差がみられました。

今後の天候が心配されるところですが、昨年同様、播種以降の11月から1月にかけて暖冬傾向で推移したため、生育が極端に進んでいる地域もあります。また、降水量も平年に比べ多く、麦の管理作業も難しい状況であることが推察されます。

支 所		加入状況			
		戸数(戸)	筆数(筆)	面積(a)	共済金額(円)
本所管内	本所	80	2,790	79,215.6	294,987,794
	佐波支所	16	323	8,539.5	26,256,143
	厚狭地区支所	44	1,344	19,900.6	84,784,397
	阿東支所	5	180	3,372.5	2,086,059
	阿武菰支所	8	127	2,001.7	1,027,554
東部管内	東部総合支所	10	123	1,390.5	4,607,812
	田布施支所	17	480	8,642.7	35,143,501
	周南支所	6	228	2,241.6	8,112,765
西部管内	西部総合支所	48	1,466	27,965.6	24,473,088
	長門支所	6	103	2,785.5	4,631,292
	美祢支所	40	1,457	21,315.0	5,141,807
組 合 計		280	8,621	177,370.8	491,252,212

補償割合の高い、全相殺・品質方式の加入をお薦めします

水稲共済は、いくつかの加入方式の中から農家ごとに選択できるようになっています。

加入方式	最高補償割合	支払基準	加入単位	主な評価方法
一筆方式	7割補償	収穫量の減少	ほ場ごと	評価員さんの検見による調査
半相殺方式	8割補償	収穫量の減少	農業者ごと	評価員さんの検見による調査
全相殺方式	9割補償	収穫量の減少	農業者ごと	出荷資料等により調査
品質方式	9割補償	収穫量の減少又は品質の低下	農業者ごと	出荷資料等により調査

【全相殺方式・品質方式の加入条件】

こちらの加入方式を選択できるのは、基本的に収穫物の概ね全量を農協等に出荷しており、その出荷資料等で収穫量や生産金額等が確認できる農家に限られます。

【補償割合について】

一筆方式は7割・6割・5割から、半相殺方式は8割・7割・6割から、全相殺・品質方式については9割・8割・7割から補償割合を選択できます。

お問い合わせは、NOSAIまで（☎083-972-7500 本所）

家族 応援団

〔農機具共済〕

「備え」を味方にこれからも

山口市 農事組合法人・周防江崎 組合長 原田 敏成さん(72歳・前列右)

21世紀型水田農業モデル経営体としては、
場整備がなされ、県内の先駆けとなって
1993年10月に「農事組合法人・周防江
崎」を設立しました。現在の組合員数は13
3名、101haの経営にまで拡大。2016
年度は、水稲65ha、麦75ha、大豆35ha、野菜
(玉葱、キャベツ)1.5haで年間の耕作面積
は180haの栽培に取り組んでいます。

発足当初は、数台の農機具で作業をして
いましたが、現在では、トラクタ7台、コンバ
イン(大豆コンバイン含む)6台、田植機3
台、管理機6台、その他農機具30台を法人と
して県内随一の台数を所有し、基幹労働力は
7名、補助3名がオペレータとして農作業に
従事しています。当初からNOSAIの農機
具共済に加入しています。過去、幸いにもオペ
レーターには怪我がなかったもののコンバ
インが横転するという事故もありました。

大型で高価な農機具を補償してくれる
保険としては、NOSAIの農機具共済が
1番です。補償があるということで、安心し
て作業が出来ます。もしもの時にも、職員さ
んの対応がとても早く、親身に対応してい
ただいておりとても満足しています。これか
らNOSAIに期待します。



特約のお知らせ

臨時費用担保特約の加入をお勧めします

● 損害共済金が20%アップ

すべての事故に損害共済金の20%をプラスしてお支払いします。

(1事故1建物250万円限度)

● 死亡・後遺障害費用

共済金のお支払い

共済目的の共済事故に直接起因し、被害の日から200日以内に死亡又は後遺障害を被ったとき、共済金額の30%をお支払いします。
(1事故1名ごとに200万円限度)



春の農作業が近づきました

山口県では、今年も「春の農作業安全確認運動」としてトラクタ作業時に事故防止の声かけを3月から6月まで実施しています。一人一人の安全意識の向上で農機具の事故防止に努めましょう。

トラクタ

- ① 乗車時は安全フレームを必ずセットしましょう。



- ② 旋回やバック時には、ロータリーカバーの接触事故に注意しましょう。



田植機

- ① 急傾斜の上りや、トラクタへ積み込む時は、バックで進みましょう。



- ② 旋回やバック時は、苗のせいの接触事故に注意しましょう。



- ③ 農機具から降りる際は、平坦な場所に停めしっかりと駐車ブレーキをかけエンジンを停止させましょう。

- ④ ご加入の農機具に万が一事故が発生したら、速やかにNOSAIへご連絡ください。

みんなのひろば

こんなこと、あんなこと、
みなさまからの話題がいっぱい



【本所】
ミネラル分が豊富で
甘みのある野菜が作れています。
藤村 康平さん（29歳）



「農業は、自分流のスタイルで好きなように仕事が出るのが魅力ですが、責任の重さは大きいです」と、山口市秋穂二島の藤村康平さん。「家が農家」「土地を受け継ぎたい」「地元で働きたい」そんな思いから2014年11月に就農。

干拓地での栽培のため、



【佐波支所】
Uターンで
故郷の良さを再確認。
安田 順子さん（35歳）



山口市徳地の安田順子さん。2年前から徳地特産の「やまのいも」の栽培（5ア）に取り組んでいる。

「自然に寄心が癒されていた。また同時に、環境にやさしい循環型の生活を実践しているところを肌で感じ、都会に出て故郷の良さを再認識した」と話すのは、

以前は東京でOLをしていたという安田さん。帰省するたびに、豊かな自然に輝かせている。



【阿武萩支所】
実践を通して成長しています。
松村 直樹さん（21歳）



阿武町の（一社）無角和種振興公社で、地域おこし協力隊として活動する松村直樹さん。農業大学校で畜産を学んだ時、研修先であった無角公社でどうしても働きたいと思い、地域おこし協力隊として応募した。

出荷や人工授精などうまくできないこともあったが、そのことがやる気につながったという。「今でも難しいのは無角牛の扱い方です。気が荒く暴れるイメージがありますが、実際は気が荒いのではなく臆病なので落ち着かせるのにコツがいります」と松村さん。「ここで多くのことを学び、ゆくゆくは自分の牧場を持ち自分の牛を持ちたいです」と話している。



〔阿東支所〕
環境適応能力の高い
dachyowを飼い始めました。
中尾典弘さん(65歳)



「ドッグランのつもりだったのが『dachyowを飼えば面白くないか』と言われ、昨年11月からdachyowの飼育をスタート。現在、4羽のdachyowを飼っています」と話すのは、山口市阿東徳佐地区で観光農園「中尾りんご園」を営む社長の中尾典弘さん。

当初、dachyowが、風邪をひくのでは？雪の中で屋根ぐらい作れば？とか、問い合わせが殺到。しかし、dachyowはアフリカ原産ながら環境適応能力が高く鳥インフルエンザにも掛かりにくく、生後3〜4カ月も過ぎるとシベリアでもブラジルでも適応するぐらい飼いやすいという。

「今後は、リニユールオープン予定の食堂で、dachyowの卵料理を出そうか検討中です」と話している。



ヒヨドリからキャベツを守る防鳥ネットの前で

〔厚狭地区支所〕
甘みのある大きなキャベツに
こだわって栽培しています。
結城渡さん(46歳)



甘くて柔らかい大きなキャベツ

宇部市東岐波の結城渡さんは、キャベツ一本で近郊の農地7畝で栽培に取り組んでいる。

東京育ちで会社勤務を経て8年前Iターン、ここ宇部市で就農した。農業大学

〔東部総合支所〕
農園から始まる食・人・地域作り。
種と土が未来を拓く。
桑名宏樹さん(45歳)



左から(株)土の取締役である桑名さん、アロマセラピストの奥さん(綾子さん)、天然酵母パン研究家の五十嵐九重さん

2015年11月にオープンしたベーカリー「パンと農園種と土」。自社農園や南河内 で採れた新鮮な野菜や小麦などを使い、天然酵母で焼き上げたパンは、とても美味しく身体にも優しいと評判だ。

桑名さんは、餅つきや農園の稲刈体験、カラーインクを使ったワークショップを開くなど、多くの「出会いと学びの場」を提供している。

「食べる場所や楽しみがあれば人が集まり、地域がにぎわう。その循環が大切です」と笑顔で話す桑名さん。「今後も、農園を土台に様々な活動が続けることで、農山漁村に豊かな循環を生み出していきたい」と話している。

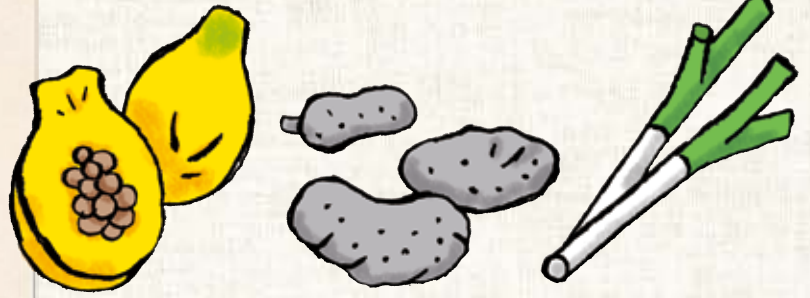
【問い合わせ】
「パンと農園 種と土」

☎0827・93・4798

(土・日・月曜日 9時〜15時営業)



店内



「ゆくゆくは下松を青パパイアの産地にしていきたいですね」と河村夫妻

【周南支所】
ハウス栽培で
青パパイアに挑戦しています。
河村 和彦さん(65歳) 真弓さん(59歳)

下松市米川でトマト、ホウレンソウ等のハウス栽培(12棟・25坪)を営む河村さん夫妻が昨年の4月からパパイアの未熟果「青パパイア」の栽培に挑戦している。「トロピカルな作物を中山間地域で育てるという意外性が面白い」と尾道市で苗を6本購入。ハウスに2週間隔で定植し肥料と水を適度にやり続けたという。



青パパイアは熟したパパイアに比べ、バイン酵素が豊富でメディカルフルーツとして注目されている。

の苗がみるみるうちに天井付近の約3メートルまで成長し、白い花が咲き無事、実がなり8月下旬頃から収穫できました」と振り返る河村さん夫妻。「昨年は試験的な栽培でしたが、それなりに収穫できたので今年は定植本数を増やしたい」と意欲的だ。



【西部総合支所】
就農2年目。
夫婦二人三脚で頑張っています。
上野 泰弘さん(40歳) セラさん(33歳)



関市吉母の上野泰弘さん、セラさん夫妻。2015年7月に新規就農し、二人三脚でネギやイチジク、ブロッコリーなどの栽培に取り組んでいる。二人は、福岡県で開催された農業のイベント

「就農して2年目で知り合い、2012年に結婚した。将来は、ハウス6棟まで増棟したいです。また、子ども達が進んで後継者になつてくれるような農業を確立していきたいです」と泰弘さん。セラさんは「今後は、ブルーベリーの栽培にも着手し、ジャムなどの加工品を手作りして販売できるように、6次産業化にも取り組んでいきたいです」と意欲的だ。



【美祿支所】
5年前から「エアポテト」の栽培をはじめています。
井上 兼夫さん(71歳)

「成長すると背丈は、約3メートルにもなるから、支柱を立ててやるのが大切ですよ」と井上さん。支柱につるが巻きつき、そこに実がなるため「イモ狩り」をする感覚がまた斬新だ。エアポテトは、ジャガイモやサツマイモの代替になるため、カレーや豚汁に入れるとおいしいという。井上さんは「エアポテトの知名度が上がれば良いですね」と話している。



知人に種イモをもらったことをきっかけに、5年前からヤマノイモ科の一種「エアポテト(別名:宇宙いも)」の栽培を始めた美祿市美東町の井上さん。形や大きさは不規則で卵

きらら

自然の魅力あふれる
青海島の魅力を伝えていきたい。



長門市の「青海島
観光汽船株式会社」
に就職して3年目
になります。現在
は、船長として、お
客様とふれあいな
がら青海島を船で案内しています。
海の近くで生まれ育ったので、幼いこ
ろから海が大好きです。今の仕事を選ん
だのも、好きな海に関係する仕事がした
かったからです。
これからも安全運航に心がけ、多くの
方に自然のつくりあげた岩の芸術品あ
ふれる青海島の魅力を伝えていきたく
と思います。
私の案内する観光船に乗っていただ
ければ、きっと笑顔になれますよ。

長門市 岡村 有菜さん
おかむら ありな



「さくら祭りの様子」

やまぐち散歩道
熊毛郡田布施町

田布施川の桜並木

300本を超える桜の木は、昭和37年に植樹され
ました。4月の満開時には、とてもきれいです。こ
れらの桜は、田布施さくら保存会等のボランティア
により大切に管理され、毎年春になると整備さ
れた桜の川土手は多くの花見客で賑わいます。さ
くら橋付近では、毎年4月上旬に田布施さくら祭
りが開催されています。

